

2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月4日

上場会社名 GMOペパボ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3633 URL https://pepabo.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 五十島啓人 (TEL) 03-5456-3021
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	5,106	△14.2	248	△45.9	258	△45.1	182	△49.5
2021年12月期第2四半期	5,950	11.2	459	△26.4	470	△29.3	362	△8.2

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 111百万円(△75.7%) 2021年12月期第2四半期 461百万円(17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年12月期第2四半期	円 銭 34.45	円 銭 —
2021年12月期第2四半期	68.50	68.03

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	10,152	2,473	24.3
2021年12月期	8,870	2,953	32.9

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 2,467百万円 2021年12月期 2,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	0.00	0.00	0.00	68.00	68.00
2022年12月期	0.00	0.00			
2022年12月期(予想)			0.00	74.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,482	△3.3	1,143	28.7	1,156	19.5	785	9.7	147.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2022年12月期第1四半期の期首より「収益認識に関する会計基準」等(以下、収益認識基準)を適用しており、業績予想は同基準適用後の数値であります。同基準適用前の2022年12月期通期の対前期比較は売上高13,674百万円(前期比15.1%増)、営業利益1,135百万円(前期比27.7%増)、経常利益1,148百万円(前期比18.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益779百万円(前期比8.9%増)となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名) ー、除外 ー社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	5,468,700株	2021年12月期	5,468,700株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	191,657株	2021年12月期	161,721株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	5,309,093株	2021年12月期2Q	5,285,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明会資料の入手方法

下記URLより、当社IRサイト内の決算説明会資料をご参照ください。
なお、8月4日(木)16時00分頃の掲載予定となります。

URL : <https://pdf.pepabo.com/presentation/20220804p.pdf>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。以下の経営成績に関する説明は、2021年12月期の遡及修正後の数値で前年同四半期連結累計期間との比較・分析を行っておりますが、遡及修正後の数値は未監査となっております。

当社は「インターネットで可能性をつなげる、ひろげる」というミッションのもと、主に個人の表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しています。

当第2四半期連結累計期間は、ホスティング事業のレンタルサーバーサービス「ロリポップ！」が、契約件数や顧客単価の増加を受け好調に推移しました。EC支援事業のオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」の流通額が前年を下回ったほか、ハンドメイド事業の「minne」の流通額は前年並みとなりました。また、金融支援事業では「FREENANCE」の請求書買取額が大幅に増加いたしました。一方で、オリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」において、テレビCMなどへの投資を実施したことからプロモーション費用が大幅に増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高5,106,845千円（前年同期比3.5%増）、営業利益248,352千円（前年同期比45.2%減）、経常利益258,464千円（前年同期比44.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益182,881千円（前年同期比48.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバーサービス「ロリポップ！」及びドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」等が属しております。

「ロリポップ！」におきましては、「ムームードメイン」との連携強化に加え、アフィリエイト向けのブログ収益化・副業スタートパックの展開や、継続的な更新率向上施策の効果により契約件数は426,651件（前年同期末比0.6%増）となりました。また、昨年の価格改定効果が継続しているほか、上位プランの契約比率が高まった結果、顧客単価は449円（前年同期比15.1%増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、ドメイン更新率の上昇により顧客単価は増加したものの、新規の契約数が減少し登録ドメイン数は1,162,930件（前年同期末比1.8%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は2,520,847千円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は851,609千円（前年同期比24.0%増）となりました。

② EC支援事業

EC支援事業には、月額制ネットショップ作成サービス国内店舗数No.1の「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しております。

「カラーミーショップ」におきましては、全国の優れたネットショップを表彰するコンテスト「カラーミーショップ大賞 2022」を開催し、3年ぶりに実会場へ全国各地のショップオーナーさまを招待して授賞式を行いました。

契約件数は、初期費用無料・月額利用料無料でネットショップを開設できるフリープランの利用が増加したことから49,277件（前年同期末比15.4%増）となりました。また、月額有料プランの販促支援アプリの提供や2022年4月に実施した価格改定の効果により、月額有料プランの顧客単価は3,850円（前年同期比12.8%増）となりました。

売上については、前年に計上したIT導入補助金を活用した売上額が減少いたしました。利益面では、「カラーミーショップ大賞 2022」等のイベント開催やインフラ強化を行ったことにより営業費用が増加いたしました。

「SUZURI」におきましては、夏のTシャツセール期間に合わせて、テレビCM等のプロモーション施策を実施し、SNSを通じた露出拡大に注力したことで新規ユーザーを獲得したことから会員数は122万人（前年同期比40.3%増）となりました。一方で、サイトへの来訪者が減少したことや、Tシャツセールの実施期間が前年に比べ後ろ倒しとなり、一部セール期間中に受注したアイテムの出荷が第3四半期になったことから、四半期連結累計期間における流通金額は12.9億円（前年同期比18.6%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は1,506,484千円（前年同期比7.3%減）、セグメント利益は254,687千円（前年同期比55.3%減）となりました。

③ ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、国内最大級のハンドメイドマーケット「minne」が属しております。

「minne」におきましては、「第46回 2022 日本ホビーショー」と同フロアで同時開催された「Handmade MAKERS' with minne byGM0ペパボ」へのブース出展や、割引キャンペーンなどの販促企画を実施し、当第2四半期連結累計期間における流通額は78.2億円（前年同期比1.9%増）となりました。

利益面では、利用者の購入を促進するため、プロモーション等の販促強化を実施したことから、営業費用が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は859,043千円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は67,206千円（前年同期比52.1%減）となりました。

④ 金融支援事業

金融支援事業には、連結子会社であるGM0クリエイターズネットワーク株式会社が運営するフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」が属しております。

「FREENANCE」におきましては、企業連携による提携企業数が増加し、3者間取引による利用が拡大したことから、当第2四半期連結累計期間における請求書買取額は31.0億円（前年同期比154.4%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は219,718千円（前年同期比134.5%増）、セグメント損失は15,388千円（前年同期間におけるセグメント損失は73,661千円）となりました。

⑤ その他

その他には、習い事やチーム・教室運営における連絡や集金をクラウド上で一元管理できるサービス「GM0レンシュ」等の新規事業が属しております。

2021年12月期に連結子会社であるGM0クリエイターズネットワーク株式会社が運営するWebコンテンツ制作事業や当社が運営するブログサービス「JUGEM」が属しておりましたが、それぞれ事業譲渡いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は751千円（前年同期比97.7%減）、セグメント損失は20,771千円（前年同期間におけるセグメント損失は3,661千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,152,016千円（前連結会計年度末比1,281,794千円増）となりました。これは、主に関係会社預け金が450,000千円及び売掛金が191,476千円減少した一方で、未収入金が643,024千円及び収益認識会計基準等の適用により前払費用が1,229,097千円増加したことによるものであります。

負債は7,678,534千円（同1,761,550千円増）となりました。これは、主に未払法人税等が96,606千円減少した一方で、短期借入金が200,000千円及び収益認識会計基準等の適用により契約負債（前連結会計年度末は前受金）が1,650,419千円増加したことによるものであります。

純資産は2,473,482千円（同479,755千円減）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が182,881千円増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が360,874千円、自己株式が60,107千円、その他有価証券評価差額金が54,052千円及び収益認識会計基準等の適用により利益剰余金の期首残高が173,461千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2022年2月7日発表の業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,370,663	2,345,833
関係会社預け金	1,250,000	800,000
売掛金	2,685,330	2,493,854
商品	6,585	7,974
貯蔵品	2,634	1,562
前払費用	123,108	1,352,206
未収入金	464,168	1,107,192
その他	136,110	135,810
貸倒引当金	△94,802	△144,262
流動資産合計	6,943,798	8,100,172
固定資産		
有形固定資産	426,989	513,950
無形固定資産	553,148	640,948
投資その他の資産		
投資有価証券	859,953	810,614
その他	86,330	86,330
投資その他の資産合計	946,284	896,945
固定資産合計	1,926,423	2,051,844
資産合計	8,870,222	10,152,016
負債の部		
流動負債		
営業未払金	271,552	281,954
未払金	2,142,435	2,125,277
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	155,556	58,949
前受金	2,219,852	—
契約負債	—	3,870,271
預り金	480,365	505,160
賞与引当金	23,490	18,365
資産除去債務	427	—
その他	400,476	364,704
流動負債合計	5,694,155	7,424,683
固定負債		
資産除去債務	26,727	26,759
その他	196,100	227,092
固定負債合計	222,828	253,851
負債合計	5,916,984	7,678,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,224	262,224
資本剰余金	254,303	256,699
利益剰余金	2,502,183	2,165,890
自己株式	△333,727	△393,834
株主資本合計	2,684,984	2,290,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230,307	176,255
その他の包括利益累計額合計	230,307	176,255
新株予約権	14,806	—
非支配株主持分	23,140	6,247
純資産合計	2,953,237	2,473,482
負債純資産合計	8,870,222	10,152,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,950,810	5,106,845
売上原価	2,576,414	2,167,005
売上総利益	3,374,396	2,939,839
販売費及び一般管理費	2,915,381	2,691,487
営業利益	459,015	248,352
営業外収益		
受取利息	1,031	1,188
受取配当金	3,157	3,084
投資事業組合運用益	11,583	8,028
業務受託料	6,722	6,566
その他	8,003	5,076
営業外収益合計	30,498	23,944
営業外費用		
支払利息	—	1,159
投資事業組合運用損	3,593	4,647
持分法による投資損失	8,376	7,052
消費税差額	6,094	92
その他	568	880
営業外費用合計	18,634	13,833
経常利益	470,879	258,464
特別利益		
事業譲渡益	96,960	—
新株予約権戻入益	—	10,250
特別利益合計	96,960	10,250
税金等調整前四半期純利益	567,840	268,714
法人税、住民税及び事業税	171,643	44,328
法人税等調整額	34,088	58,397
法人税等合計	205,731	102,725
四半期純利益	362,109	165,988
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△16,892
親会社株主に帰属する四半期純利益	362,109	182,881

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	362,109	165,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99,149	△54,052
その他の包括利益合計	99,149	△54,052
四半期包括利益	461,258	111,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,258	128,829
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△16,892

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	567,840	268,714
減価償却費	139,917	149,423
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,489	49,459
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△61,398	△5,125
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,702	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△41	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	△7,990	△3,381
持分法による投資損益 (△は益)	8,376	7,052
受取利息及び受取配当金	△4,189	△4,273
支払利息	—	1,159
事業譲渡損益 (△は益)	△96,960	—
新株予約権戻入益	—	△10,250
売上債権の増減額 (△は増加)	△94,651	191,476
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,927	△316
前払費用の増減額 (△は増加)	△22,095	△125,331
未収入金の増減額 (△は増加)	△51,920	△643,663
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	35,270	300
営業未払金の増減額 (△は減少)	124,314	△8,697
未払金の増減額 (△は減少)	△227,717	△17,058
前受金の増減額 (△は減少)	129,656	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	306,778
預り金の増減額 (△は減少)	54,925	24,794
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△82,075	△33,875
その他	△413	△4,050
小計	401,706	143,136
利息及び配当金の受取額	4,190	4,281
利息の支払額	—	△1,159
法人税等の支払額	△248,929	△136,650
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,968	9,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△69,634	△50,794
無形固定資産の取得による支出	△105,004	△153,477
投資有価証券の取得による支出	△105,000	△45,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△400
事業譲渡による収入	124,676	—
投資事業組合からの分配による収入	32,454	11,754
投資有価証券の償還による収入	39,999	—
敷金及び保証金の回収による収入	533	—
その他	23	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,951	△237,918
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	200,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,853	△23,691
ストックオプションの行使による収入	25,732	17,644
自己株式の取得による支出	—	△79,912
配当金の支払額	△426,499	△360,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,621	△246,518
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330,605	△474,829
現金及び現金同等物の期首残高	3,622,457	3,620,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,291,852	3,145,833

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客との契約における履行義務の識別を行った結果、「ロリポップ!」及び「カラーミーショップ」などに係る初期費用売上について、サービス提供開始時に収益認識する方法によっておりましたが、サービス契約期間にわたり収益認識する方法に変更しております。また、「ムーードメイン」について、取得完了時に収益認識する方法によっておりましたが、一定の期間にわたり収益認識する方法に変更しております。加えて、当社グループが代理人として関与したと判定される「SUZURI」及び「minne」などについて、総額で収益認識する方法によっておりましたが、純額で収益認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は847,649千円減少し、売上原価は389,248千円減少し、販売費及び一般管理費は489,326千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ30,925千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は173,461千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,384,658	2,443,671	995,342	94,177	5,917,848	32,961	5,950,810	—	5,950,810
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,384,658	2,443,671	995,342	94,177	5,917,848	32,961	5,950,810	—	5,950,810
セグメント利益 又は損失(△)	693,461	568,001	140,171	△73,661	1,327,972	△3,661	1,324,311	△865,295	459,015

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。なお、JUGEMについては、2021年4月に事業譲渡しております。
2. セグメント利益の調整額△865,295千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
ロリポップ	1,126,865	—	—	—	1,126,865	—	1,126,865	—	1,126,865
ムームードメイン	1,092,440	—	—	—	1,092,440	—	1,092,440	—	1,092,440
カラーミーショップ	—	884,956	—	—	884,956	—	884,956	—	884,956
SUZURI	—	460,020	—	—	460,020	—	460,020	—	460,020
minne	—	—	859,043	—	859,043	—	859,043	—	859,043
FREENANCE	—	—	—	219,718	219,718	—	219,718	—	219,718
その他	301,541	161,507	—	—	463,048	751	463,799	—	463,799
顧客との契約から 生じる収益	2,520,847	1,506,484	859,043	219,718	5,106,094	751	5,106,845	—	5,106,845
外部顧客への売上高	2,520,847	1,506,484	859,043	219,718	5,106,094	751	5,106,845	—	5,106,845
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,520,847	1,506,484	859,043	219,718	5,106,094	751	5,106,845	—	5,106,845
セグメント利益 又は損失(△)	851,609	254,687	67,206	△15,388	1,158,113	△20,771	1,137,341	△888,989	248,352

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、GM0レンシュを含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△888,989千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「ホスティング事業」の売上高は37,015千円減少、セグメント利益は31,990千円増加し、「EC支援事業」の売上高は686,247千円減少、セグメント利益は1,065千円減少し、「ハンドメイド事業」の売上高は123,657千円減少し、「金融支援事業」の売上高は728千円減少しております。なお、「ハンドメイド事業」及び「金融支援事業」のセグメント利益への影響はありません。